

第1回総務常任委員会議案

日 時 平成24年1月10日（火曜）午前9時30分
場 所 第1委員会室

1 開 会

2 議 件

(1) 調査事項

ア 農村地域のブロードバンド化について

資料1

イ 議会報告と町民との意見交換会（総務常任委員会分）の対応に
ついて

資料2

3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について

平成23年 月 日（曜） 時 分

(2) その他

4 閉 会

メモ

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the 'メモ' header. It is intended for a drawing or diagram.

農村地域のブロードバンド化について

1 現状の課題

- 1 市街地及び美生、上美生地区の一部ではインターネット高速通信の利用ができるが、多くの農村地域では通信速度の遅いアナログ回線しか利用できない(別紙図面参照 2ページ)。
- 2 インターネット通信基盤が脆弱な地域は、議会中継や図書館蔵書検索など、インターネットを利用した行政情報受信が制限されている。

2 整備の方針

農村地域における情報通信格差を解消するとともに、行政情報を伝達する仕組みを構築するため、次のとおり整備を予定する(別紙イメージ 3ページ)。

- 1 無線を活用した通信基盤整備を行なう。
- 2 基地局、中継局(コンクリート柱等)を設置し、農村地域に無線網を構築する。
- 3 行政情報発信及び災害発生時の防災情報発信のための施設整備(屋外音声告知スピーカーの設置等)。

3 整備スケジュール(予定)

平成23年度	・先進事例の調査、整備手法の検討 ・農村部アンケートの実施(12月中旬～1月中旬) <u>現在実施中</u>
平成24年度	・ブロードバンド及び防災機能調査設計 ・農村部ニーズ調査(詳細)
平成25年度	・ブロードバンド設備工事 <u>順次運用開始</u>
平成26年度	・防災機能設備工事 <u>順次運用開始</u>

※詳細スケジュールは別紙のとおり(4ページ)

4 整備費用

- 1 調査設計 22,000千円
- 2 設備工事(ブロードバンド) 148,000千円
- 3 設備工事(防災機能) 140,000千円

※金額は概算。設備工事費用は調査設計において積算。

5 通信速度の比較

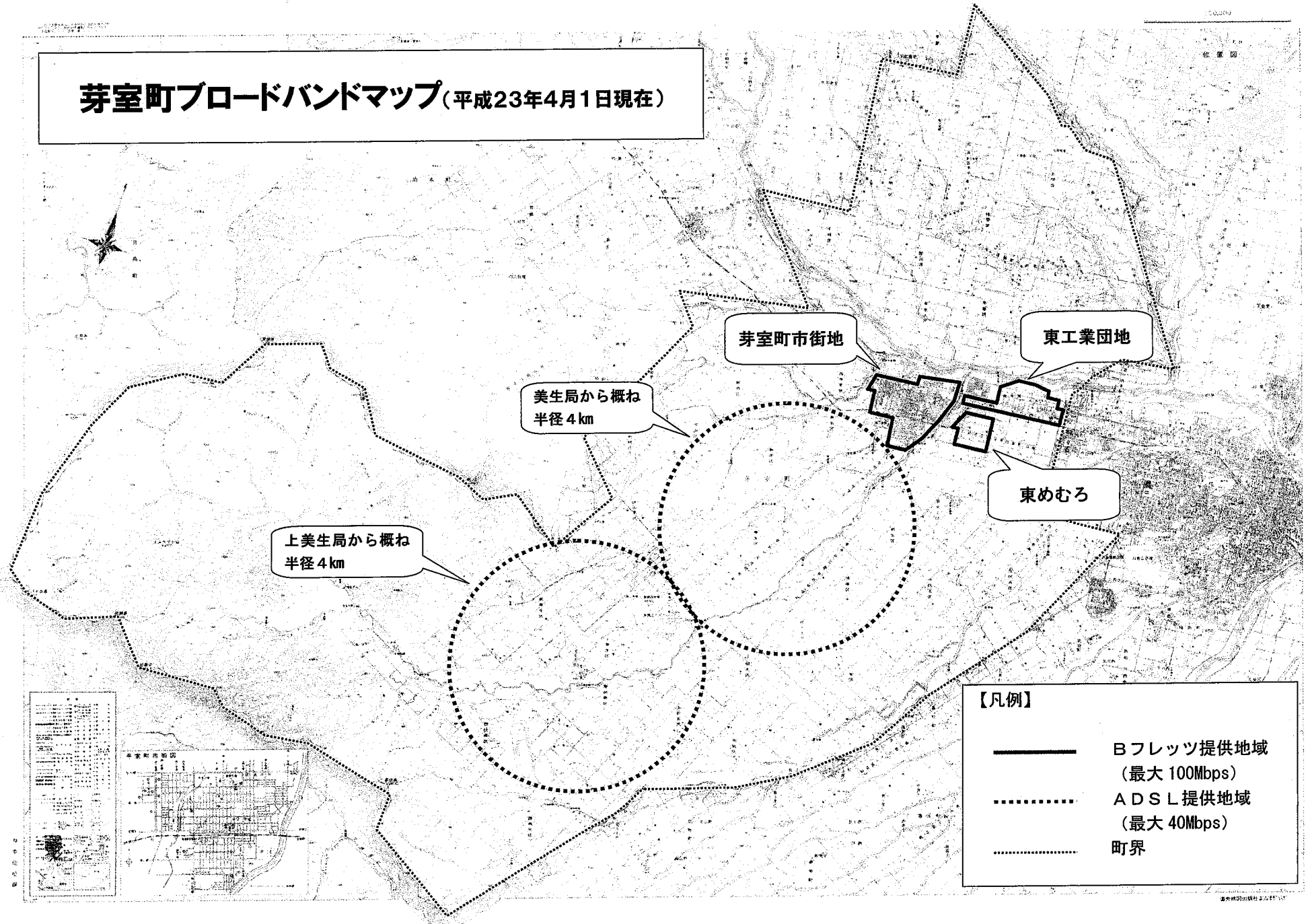
回線種類	通信速度	現状
Bフレッツ(光回線)	最大 100Mbps	市街地のみ利用可能
ADSL	最大 40Mbps	市街地及び農村部の一部で利用可能
アナログ(電話回線)	最大 128Kbps	町内全域利用可能可能(農村部の多くが利用)
携帯端末	最大 7.2Mbps	〃
無線	最大 54Mbps	整備予定

※1Mbps=1000Kbps アナログ回線と無線の通信速度を比較した場合、約 400 倍違う。

※通信速度は、基地局からの距離、環境等により実際は遅くなる場合があります。

芽室町ブロードバンドマップ(平成23年4月1日現在)

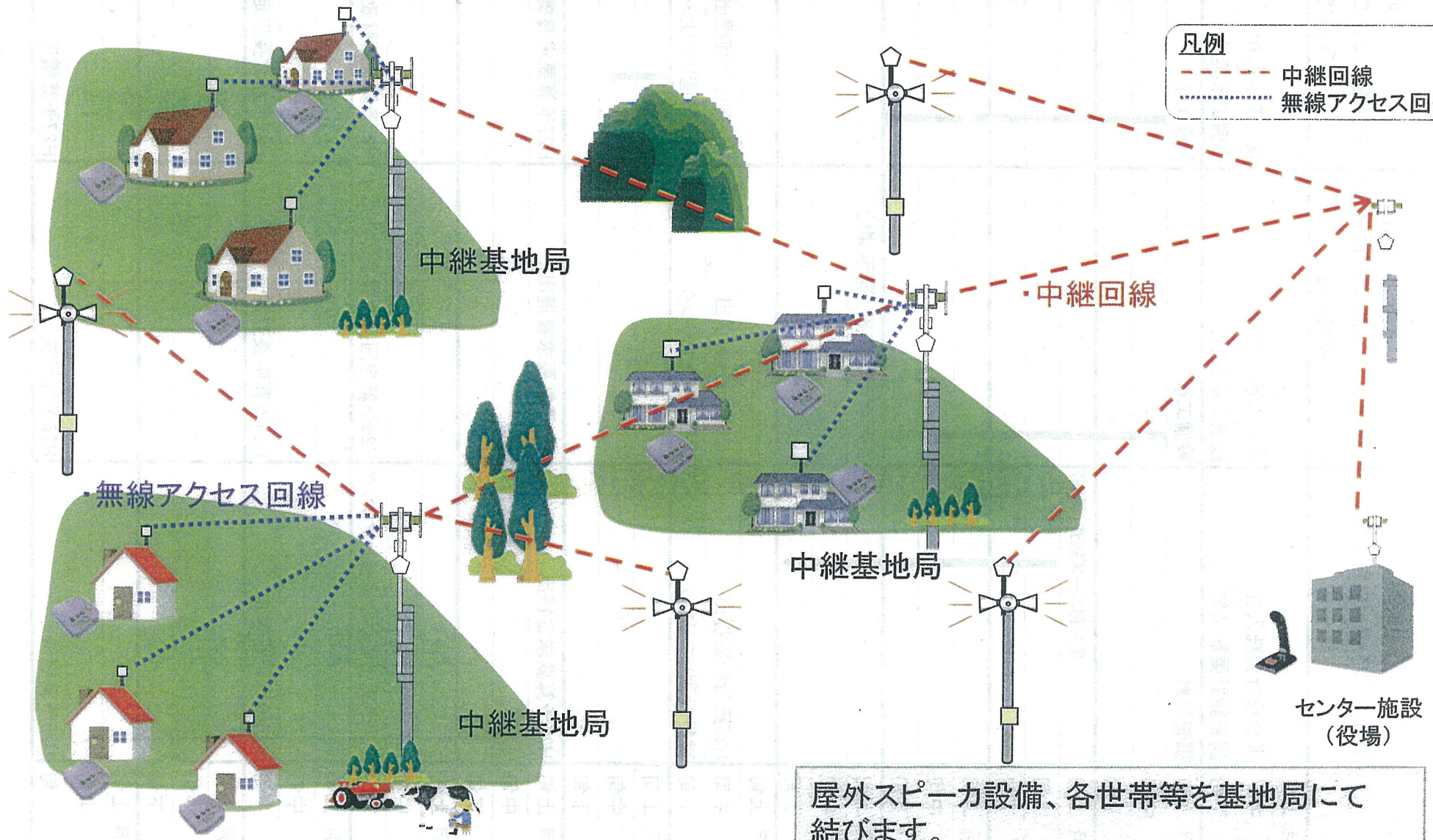
2



無線アクセスのネットワーク構成イメージ

凡例

- 中継回線 (Red dashed line)
- 無線アクセス回線 (Blue dotted line)



芽室町ブロードバンド化等年次・月別計画

	H24 (ブロードバンド・防災機能調査設計)	H25 ブロードバンド設備工事(農村部) 運用開始	H26 防災機能設備工事(農村部) 運用開始
4月 上旬			
中旬	調査設計委託入札	設備工事入札	設備工事入札
下旬	調査設計委託契約	設備工事契約	設備工事契約
5月 上旬	調査設計	設備工事	設備工事
中旬		↓	↓
下旬			
6月 上旬	農村部ニーズ調査(詳細)		
中旬	↓	↓	↓
下旬			
7月 上旬			
中旬			
下旬		↓	↓
8月 上旬		利用者個別工事、運用開始	順次運用開始
中旬			
下旬			
9月 上旬			
中旬	H25実行計画提出	H26実行計画提出	H27実行計画提出
下旬	実行計画ヒアリング	実行計画ヒアリング	実行計画ヒアリング
10月 上旬		↓	↓
中旬			
下旬			
11月 上旬	H25予算要求書提出	H26予算要求書提出	H27予算要求書提出
中旬			
下旬			
12月 上旬			
中旬			
下旬	H25予算企画財政課長ヒアリング	H26予算企画財政課長ヒアリング	H27予算企画財政課長ヒアリング
1月 上旬			
中旬			
下旬	H25予算町長査定	H26予算町長査定	H27予算町長査定
2月 上旬			
中旬			
下旬			
3月 上旬			
中旬			
下旬	H25予算議決	H26予算議決	H27予算議決

H23『議会報告と町民との意見交換会』

総務常任委員会速報

『主語を「議会としては」…へ』

VOL.3



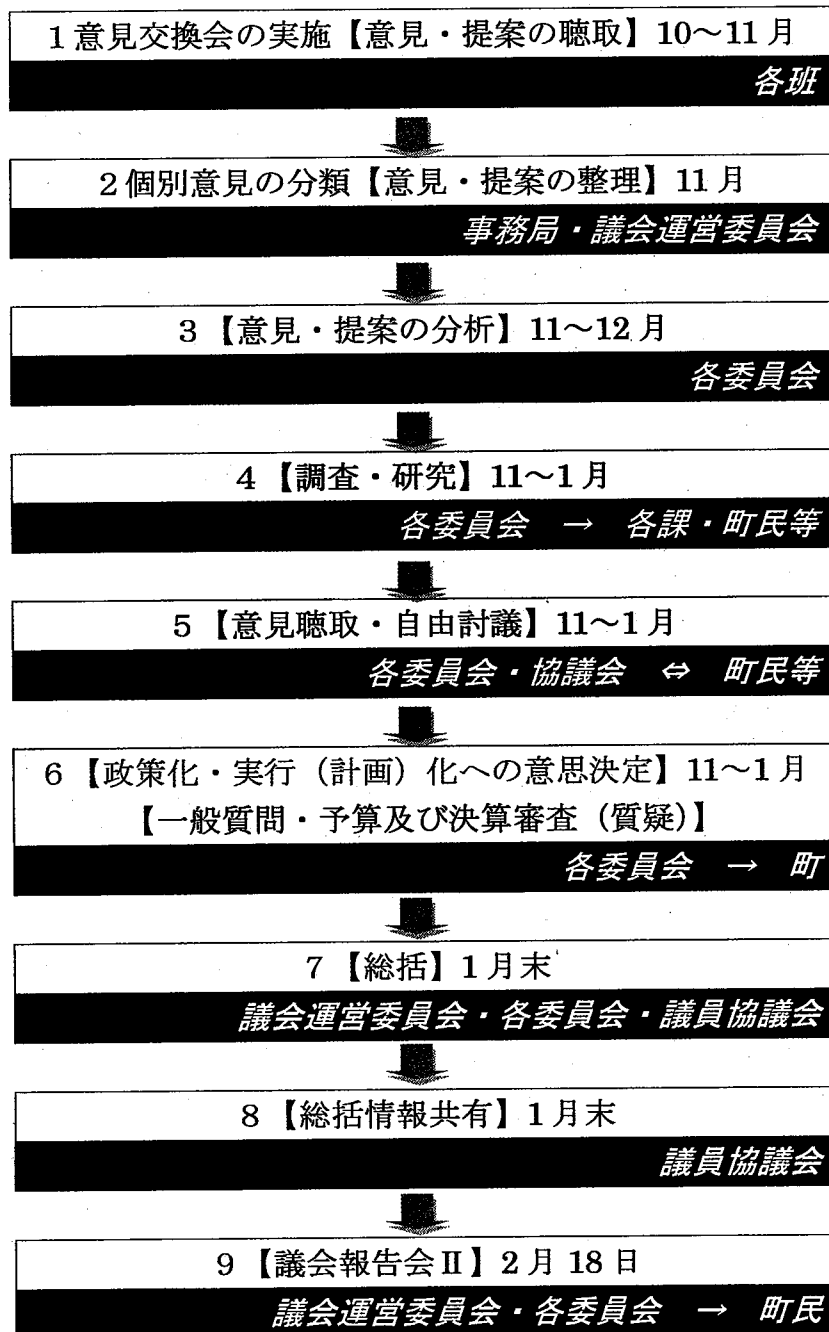
平成 24 年 1 月 10 日

総務常任委員会

H23『議会報告会と町民との意見交換会』の政策形成の流れ

- ・町民から出された個別の意見等を集約し、分類整理し、所管の常任委員会等において調査・研究を行い、課題解決に向け政策立案化する。
- ・また、町民から出された意見等をもとに新たな課題や問題について、町の総合計画や予算化などに結びつけ、政策執行化を図る。 (第24回議会運営委員会決定)

意見交換会の政策形成フロー



総務常任委員会分のフローの基本

⑤ H24.2.18 報告会・議会広報掲載

(公表)



④ 議会運営委員会

(議運において最終決定)



③ 議員協議会

(議運において報告書原案の協議)



② 議会運営委員会

(議運において原案協議)



① 総務常任委員会

(委員会において原案作成)

平成 23 年度議会報告と町民との意見交換会の議会対応・協議シート

総務常任委員会分(第 1 回総務常任委員会 1/10) (16 項目)

大分類	項目	1	2	3		4	5	6	
				前期	後期				
B 総務・行 財政				前期	後期				
	1	町民の意見を聴き、役場庁舎建設を決定すべき	○	◎	○	○			
	2	議会は民間活力によるサービス向上をチェックすべき	○	○		○			
	3	芽室町は非核宣言しているか	○	○				○	
	4	気温測定地点を変更し、町のイメージアップを図って	◎	○				○	
	5	JR大成駅のコミュニティスペースの管理はどうなるのか	○	○	○				
	6	80 歳以上全員にコミュニティバスの無料パスを交付しては	○	○	○			○	
	7	太陽光パネルの普及状況とペレット工場の地域説明を	○	○	○		○		
	8	東日本大震災が及ぼす本町への影響はあるか	○	○	○	○			
	9	町民 1 人当たりの借金の額はいくらか	○	○	○	○			
	10	上美生地域の活性化策の検討を願う	○	○		○			
	11	農村ブロードバンド化構想を理解し議論を行うべき	○	○	○				
12	消防の広域化で何が変わるのか	○	◎	○	○	○			

G 教育・文 化	1	図書館指定管理調査の反映は。ベテラン司書の配置を	○	○				○	
	2	柏樹学園の運営費の予算額確保を願う	◎	○				○	
	3	施設使用料の見直し予定はどうなっているか	○	○				○	
	4	東めむろ線スクールバスの運行存続を願う	○	◎	◎		○		

- 1 直ちに質問者に回答する 2 まめ通信（1月号）に掲載する
 3 委員会で調査する 4 一般質問する
 5 町に伝達する（計画化・予算化） 6 政策提案する（条例化・意見書）

(1) 「町民の意見を聴き、役場庁舎建設を決定すべき」

月日・会場	平成 23 年 10 月 21 日 (金) 弥生福祉館
発言内容	町は、「予算がない」といいながら、役場庁舎の建設、本当に金がないと建設できないはずだ。建て替えなくても倒壊しないと思う。倒壊したら仕方ない。いずれにしても、町民の意見を聞かなければならないのではないか。
調査・協議等	<p>総務常任委員会 第 18 回 12/14 第 19 回 12/21 第 1 回 1/10 議員協議会 第 29 回 12/22</p> <p>・藤森議員 第 9 回定例会一般質問 12/● ・町長答弁内容：H23 年度中に課題を洗い出し、H24 年度内に新庁舎建築の基本構想を策定する。H24 年度に「第 4 期総合計画の後期実行計画」に盛り込む予定である。広く町民の意見を聞きながら進める。』との答弁がある。建築場所や完成時期については、基本構想の確定を持って建替を進めることとなり、現段階では答える状況にない。</p>
町の計画	第 4 期総合計画 施策に結びつかない事務事業 ・個別計画等 庁舎建設構想策定作業 (H24)
回答内容	<p>議会としては、今後、時期を見定めて(仮称)議会庁舎建設特別委員会を設置することを申し合わせている。また、広報誌すまいる 10 月号で、庁舎改築の内容を報じているが、こうした町民の声があることを踏まえ、町民の意見を聞き、また広報誌等を通じて情報を適宜提供すべきである旨を申し入れる。</p> <p>町から議会(総務常任委員会・議員協議会)に対しての報告内容は次のとおり。役場庁舎の老朽化・耐震強度不足等により改修ではなく、建設するとの方向性が出た。建設を目指し機能や場所などの課題を早急に解決していくため基本構想策定が必要。</p> <p>① 管理庁議で庁舎改築の方向性を決定した。 ② 町の報告内容は「H22 年度から庁舎内部で検討し、庁舎の老朽化や耐震強度不足などから改修ではなく、改装(建設)する」「場所や機能などについては、今後検討する」という主旨である。 ③ H24 年度に制定する「第 4 期総合計画の後期の実行計画」に盛り込む。</p>

(2) 「議会は民間活力によるサービス向上をチェックすべき」

月日・会場	平成 23 年 10 月 21 日 (金) 弥生福祉館
発言内容	民営化や指定管理者制度などその結果がどうなっているか、「理想どおりになっているか」「サービスが向上したか」などの視点で議会検証をすべきである。
調査・協議	総務常任委員会第 18 回 12/14 第 19 回 12/21 第 1 回 1/10 議協 第 29 回 12/22
町の計画	第 9 次行政改革大綱
回答内容	<p>議会としては、指定管理者制度移行において、民間運営による「住民サービスの向上」と経費削減のメリット性の点から議決した。指定期間に基づき指定管理者が毎年の自己評価を町に提出し、町が「指定管理者選定委員会」で審査の評価を点数化して、基準点を定めて指定し、議会は、それを議会へと報告を受けている。</p> <p>民間経営の検証は困難であり、議会が独自に検証していないが、側面から町民の満足度向上を目指し、所管委員会、予算審査や決算審査、また、一般質問等で町民ニーズやサービスの向上等のチェックしている。</p> <p>指定管理者制度は、多様化する住民ニーズ（需要）に、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用して住民サービスの向上を図ると共に、経費削減などを図ることを目的として、芽室町では H18 年 4 月 1 日から導入している。</p>

(3) 「芽室町は非核宣言しているか」

月日・会場	平成 23 年 10 月 18 日 (火) めむろ一ど
発言内容	芽室町は『非核宣言の町』としているか。
調査・協議	総務常任委員会第 18 回 12/14 第 19 回 12/21 第 1 回 1/10 議協 第 29 回 12/22
町の計画	第 4 期総計 1-4 人々が尊重しあう地域社会の実現 1-4-2 人権を尊重する地域社会の形成
回答内容	<p>議会としては、第 4 期総合計画・展望計画 (H25-29) では「平和意識の醸成と町民一人ひとりが差別解消のために主体的に取り組むための事業推進」とあり、町の計画・事務事業の予算化に対し注視していく。</p> <p>・町は、平和で豊かな、安心して暮らすことの出来る地域社会の実現を目的として、昭和 62 年に「平和・非核宣言」を議会議決により制定し、この趣旨に基づき平和意識の醸成に努めている (昭和 62 年 6 月 15 日 宣言文朗読 芽室町町民代表 松原加津代氏)。</p> <p>・また、第 4 期総合計画の中でも、平和意識の醸成に努めるとともに全ての町民の人権尊重を基本理念とするとしている。平成 21 年には、「平和市長会議」に加盟し、更なる平和事業の推進を図っている。</p>

(4) 「気温測定地点を変更し、町のイメージアップを図って」

月日・会場	平成23年10月20日(木) 東めむろコミュニティセンター
発言内容	毎朝6時にテレビの天気予報を観るが、芽室町の最低、最高気温が低い。気温は住みやすい町の条件であり、帯広市と比較してもさして変わらないはずであるが差が生じている。気象庁で測定位置を決定するのであろうが、議会で取り上げていただければと思っている。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	なし
回答内容	アメダスの設置場所は、気象庁が選定する。周辺の環境変化(樹木の伸び)により風速測定が困難になり、H19年12月10日に浄水場から現在の健康プラザに移設された。従来に比し平均温度に大差ない健康プラザが選定されたことで問題ないと思われるが、提案内容について町に伝える。

(5) 「JR大成駅のコミュニティスペースの管理はどうなるのか」

月日・会場	平成23年10月20日(木) 東めむろコミュニティセンター
発言内容	・大成駅は、広報誌に記載どおり待合室の工事が始まった。JRが本来やるべきであると思うが、芽室町が予算を計上し議会で議決している。あの待合室は、高校生が主であればサロン、交流の場とするとあった。管理や暖房などはどうなるか。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22 第9回定例会で事業についての補正予算決議済。
町の計画	第4期総計 3-2 都市空間の整備と有効な土地利用の推進 3-2-3 道路交通環境の整備(P106-108)
回答内容	議会として、町に対しコミュニティスペースの概要(すまいるボード設置、ベンチ無設置など)工事の遅れの理由などを地域に説明の上、管理方法について協議していくよう伝える。こうした町民の声があることを踏まえ、町民の意見を聞き、また広報誌等を通じて情報を適宜提供すべきである旨を申し入れる。 ・H23.12月から設置工事を開始し、H24.1月中旬に完成予定である。 ・行政の情報発信掲示板「すまいるボード」を置く(その他は置かない。暖房機器は設置しない)。 ・コミュニティスペースの所有者は町であり、管理責任も町である。 ・町は、維持管理は町が行うが、清など具体的体制について、公共サービスパートナー制度で対応できないかなど町・芽室高校・町内会で協議する。周囲の草刈については、JRを交え協議する。公共サービスパートナー制度を用いることができないか地域や学校と協議しながら進めていく予定である。

(6) 「80歳以上全員にコミュニティバスの無料パスを交付しては」

月日・会場	平成23年10月20日(木) 東めむろコミュニティセンター
発言内容	コミバスの無料パスは、後期高齢者や運転免許返納者に限らず、全ての80歳以上の方に交付してもいいのではないかと。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	3-2 都市空間の整備と有効な土地利用の推進(P102-103) 3-2-3 道路交通環境の整備
回答内容	議会としては、コミュニティバス運行事業については、少子高齢化・中心市街地活性化・「買い物の不便さの解消」など課題は多岐にわたるため、各常任委員会で共通事項とし引き続き調査していくものである。 コミュニティバスの無料パス交付の目的は、高齢者の交通安全にあり、経済負担軽減策ではないが、こうした町民の声があることを町に伝える。

(7) 「太陽光パネルの普及状況とペレット工場の地域説明を」

月日・会場	平成23年11月17日(木) 西士狩地域福祉館
発言内容	1 3.11以降エネルギーに関心があるが、本町の太陽光パネル普及状況は。 2 そよ風トークで町は、8月頃にペレット工場の説明を地域にしてくれるとのことであったが未だにない。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22 第9回定例会 梅津・小椋議員が一般質問 町長の答弁内容： ・太陽光パネルの普及状況は、H23.3末で98戸、これにH23実績を加え150戸と推計される(北電聞き取り)。町の補助制度は、国の補助制度が継続する間は継続する意向である。 ・木質ペレット製造は8月～11月で18t製造。需給バランスを考慮し、製造量に見合った消費量が必要であり、公共施設等でペレットボイラーの導入を推進する。 ・ペレット製造についての地域説明の説明を断られた経緯がある。
町の計画	第4期総計 3-3 自然と調和した生活環境の整備と環境の保全 3-3-2 自然環境の保全とクリーンエネルギーの推進(P112-113)
回答内容	議会として、こうした町民の声があることを踏まえ、町民の意見を聞き、また広報誌等を通じて情報を適宜提供すべきである旨を町に申し入れる。 1 町エネルギービジョンの進捗状況及び太陽光パネル普及状況について、そよ風トークや広報誌等で周知することを要請する。 2 町に対し、再度ペレット工場についての地域説明を要請する。

(8) 「東日本大震災が及ぼす本町への影響はあるか」

月日・会場	平成 23 年 11 月 18 日 (金) 上美生農村環境改善センター
発言内容	3月の東日本の大震災で芽室町にも影響があるか。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	第4期総合計画 5-2 安定した行財政運営と行政サービスの推進
回答内容	<p>・町への交付税や補助金については、H23 年度分は減額傾向にある（内示の 93～94%）。</p> <p>今後も国は復興財源を確保する必要があるとあり、減少傾向は続くものと考えられる。</p> <p>・H24 年度の地方交付税の見通しは、総額 1.6%マイナスと示されている。</p> <p>それ以降は不明である。</p> <p>・議会としては、こうした町民の声があることを踏まえ、広報誌等を通じて情報を適宜提供すべきである旨を町に申し入れる。</p>

(9) 「町民 1 人当たりの借金の額はいくらか」

月日・会場	平成 23 年 11 月 18 日 (金) 上美生農村環境改善センター
発言内容	町民一人当たりの借金額はいくらか。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	第4期総計 5-2 安定した行財政運営と行政サービスの推進 5-2-2 健全な財政運営(P150-151)
回答内容	<p>平成 22 年度決算で、42 万円である。貯金は 22 万円である。</p> <p>町財政基本計画に基づき健全財政に向けて議会としてもチェックしていく。</p> <p>議会として、広報誌すまいる 12 月号（訂正記事）があったが、地方自治法に基づく重要な住民への情報提供であり、町に申し入れる。</p> <p>また、芽室町財政計画をもとにした将来の町の財政の姿についても、広報誌等を通じて情報を適宜提供すべきである旨を申し入れる。</p>

(10) 「上美生地域の活性化策の検討を願う」

月日・会場	平成 23 年 11 月 18 日 (金) 上美生農村環境改善センター
発言内容	上美生地域の活性化の検討をお願いしたい
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	第 4 期総計 5-1町民が主役となった地域づくり 5-1-4地域活動の推進 (P142-144)
回答内容	議会としては、上美生の活性化に限定することなく、郊外市街地・農村地域の各分野における課題が多岐にわたることから町に対し、こうした町民の声がある旨を申し入れる。上美生地域での取組は、他に類をみないモデル的存在であるが、課題として、①小中学校児童生徒数の維持（小学校は複式になれば中学校の存続が危惧され、山村留学・親子留学受入の必要性）農協支所利活用の推進（地域住民の積極的利活用の推進）駐在所警察官の活用（学校行事・地域勉強会などに要請、必要性のアピール）農協支所・駐在所の活用なくして存続要請はあり得ないが、上美生地域住民が活性化策を自らどう考えるかという観点も必要である。

(11) 「農村ブロードバンド構想を理解し、議論を行うべき」

月日・会場	平成 23 年 11 月 21 日 (月) 北伏古地域福祉館
発言内容	H25までの I T インフラ整備構想は。議会も内容が分からないというのではなくて、理解し真剣に議論すべき。コストも半端ではない。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	第 4 期総計 5-2 安定した行財政運営と行政サービスの推進 5-2-3 親切・便利な行政サービスの推進(P152-153)
回答内容	委員会としては、町も方向性を示していることから H24.1 月に所管事務調査を行い議員間で討議する。 ・現状：市街地は光ファイバー回線、美生、上美生 1 部地域で ADSL が整備済み。今後は、農村部での環境改善のために鉄塔方式による無線方式を採用予定である。事業費は国の補助金含めて 2 億円弱を想定している。参考：キー局 110 万円、中継局 1 本 200 万円の整備費用がかかる。H24 年に調査設計、25 年度には利用開始の予定。役場屋上にキー局（アンテナ）を設置、農村部に鉄塔を配置し、無線（5GHz）を利用した通信回線を整備。回線速度は末端 54Mbps（最大値）。個人負担は、無線受信のアンテナを購入の場合 80,000 円、レンタルの場合月 15,000 円 取付工事 20000 円 月使用料金（プロバイダ料込み月間 4000 円）。採用理由は、光ケーブル、無線、衛星などを検討したが、今回採用の無線（鉄塔）方式は、比較的大容量で高速の通信が可能、整備費用が光ケーブルと比較すると低額、維持管理コストが不要の理由で無線方式の採用となった。

(12) 「消防の広域化で何が変わるのか」

月日・会場	平成23年11月21日(月)北伏古地域福祉館
発言内容	消防広域化でどう変わるのか。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22 第9回定例会 梅津議員一般質問 町長答弁：いわゆる「自賄い方式」については、消防の広域化を進める上で広域化のデメリットとしないために、解消し統一することを目指す。
町の計画	第4期総計 3-1 安全安心に暮らせる生活環境づくり 3-1-1 防災対策と交通安全の推進 (P96-97)
回答内容	議会としては、「消防力を低下させない」ことが最も重要なことであると認識している。市町村長会議などの動向を踏まえ、課題解決に向け必要であれば所管事務調査する。 ・国が進める「消防や救急搬送の合理化」を図るために、北海道においても消防本部の統合が協議されている。十勝管内でも、6消防組合本部を1つに統合するための協議が行われてきた。 ・広域化のメリットは、1 消防や救急搬送の合理化（近い場所から駆けつけるので時間短縮）。2 小規模の消防本部では消防力の向上。3 通信網の整備（通信のデジタル化）。広域化のデメリット（課題）は、1 職員の異動で消防力が低下する署が出る。2 給料や待遇が違うことから調整によって不利益になる署員が出る。3 勤務地の問題などが指摘されている。 ・11/18の議員協議会で町から説明があり、「統合を予定していたH25年1月1日施行に向けた条例提案は見送る。様々な協議が整っていない」のが理由とされる。

(13) 「図書館指定管理調査の反映は。ベテラン司書の配置を」

月日・会場	平成23年10月18日(火) めむろーど
発言内容	1 図書館の指定管理に関する総務所管事務調査で、芽室町の図書館にどう取り入れ、改善したか。 2 図書館司書が全て臨時職員であるが、ベテランが必要ではないか。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	第4期総計 4-1 豊かな心を育むひとづくりの推進 4-1-2 生涯学習の推進(P124-125)
回答内容	1 指定管理制度導入については、町教育委員会でも指定管理制度導入の市町村を調査の上、見送る決定をし、議会にもその旨報告されている。 2 議会としては、正職を含めベテランの司書を配置していると認識している。 ・司書数6人(男1人、女5人=内臨時職員) / 係長(男性) 司書経験及び芽室図書館経験14年8か月 / 司書経験27年 芽室町図書館経験10年2か月 / 司書経験4年8か月 芽室図書館経験4年8か月 / 司書経験13年3か月 芽室図書館経験2年8か月 / 司書経験2年8か月 芽室図書館経験2年8か月 / 司書経験2年8か月 芽室図書館経験2年8か月

(14) 「柏樹学園の運営費の予算額確保を願う」

月日・会場	平成23年10月21日(金) 弥生福祉館
発言内容	柏樹学園の町の予算を削減された。入園者もジリ貧。予算減額されないように高齢者にも目を向けてほしい。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	第4期総計 4-1 豊かな心を育む人づくりの推進 4-1-2 生涯学習の推進(P124-125)
回答内容	議会としては、町予算がH21は93万円、H22は97万円、H23は116万円を計上されていることから増額傾向にあると認識している。町教育委員会から柏樹学園生に対しその旨の説明を促すものである。 ・町民からの質問は、学園生の減少による収入が減っていることからの予算が減っていることによると考えられる。入園数については、582人(H8)をピークに減少(H23年度315人 H22年度335人 H21年度340人 H20年度389人) ・学園事務局費、自治会会計については、学園生の入園数によって収入の増減が生じ、それに伴って昼食代等の支出も増減するため、収支のバランスも良く繰越金や積立金も予算額どおりに行われている。

(15) 「施設使用料の見直し予定はどうなっているか」

月日・会場	平成23年10月21日(金) 弥生福祉館
発言内容	町の施設の使用料を見直しする予定はあるのか。大小の団体に使用料の差をつけるべきではないかと考えている。文化協会が無くなってしまっは町の活性化にならない。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22
町の計画	5-2 安定した行財政運営と行政サービスの推進 5-2-1 効果的・公立的な行政運営(P146-148) 4-1 豊かな心を育む人づくりの推進 4-1-2 生涯学習の推進(P124-125)
回答内容	議会としては、これらを踏まえ今後、所管事務調査を行う。 ・現在、町ではH24からの新たな受益者負担の考え方のもとで、公共施設使用料の改定に取り組んでいる。その考え方は、公共施設の有料化が現在、利用者離れにつながり、施設本来の設置目的が薄れていることから、町の財政状況と施設設置目的のバランスを確保した利用促進に向けた適正な使用料の設定と改正を実施していく方針である。

(16) 「東めむろ線スクールバスの運行存続を願う」

月日・会場	平成23年10月20日(木) 東めむろコミュニティセンター
発言内容	大成橋工事が完成するに伴い、当初の予定どおり平成23年度をもって終了することとなっている。そよ風トーク、町教育委員長及び教育長に対し要望をしてきたところである。低学年だけでも、冬季だけでも存続してほしい。教育委員会の運行廃止が最初から決定しているのであれば何のために町民と話し合いをしてきたのか、取り進め方を含め住民は納得していない。
調査・協議	総務常任委員会第18回12/14 第19回12/21 第1回1/10 議協 第29回12/22 第9回定例会で補正予算を可決。 ・第9回定例会 藤森・梅津議員が一般質問 ・教育長答弁：保護者には、運行開始当初から工事完了で終了する旨を伝えてきた。10月6日の教育委員会で臨時運行の終了とH24以降の運行は行わないことを決定しており、廃止方針に変わりはない。
町の計画	第4期総計 4-1 豊かな心を育む人づくりの推進 4-1-3 学校教育の充実(P120-122) スクールバス運行計画
回答内容	議会としては、東めむろ線のみに限らず、スクールバス運行の要綱や計画など全体的な見直しや検討が必要であると考え、町教育委員会に申し入れる。